

5 | 5 4 | 0

(包紙)

「文政六未暮中井与惣兵衛様御取上候<sup>ニ而</sup>  
御上様御急手ニ付魚座より銀札三貫目献上  
仕候所此度御墨印被遣候、尤中井公御出府迄  
去暮より内願夏御羽織御紋付拝領被仰付  
尤此節御有合乏敷ニ付御紋御免被仰付候間  
勝手ニ相調着用可申候、御内々御聞届之旨  
申三月十一日夕中井公より被仰渡候事

付たり 連々御内御用致出精候<sup>ニ付</sup>  
先達<sup>而</sup>中井公より厚く被仰立置候<sup>ニ付</sup>  
御羽織御紋御赦免其上御垢付  
御帷子頂戴被仰付難有御受  
申上候事中井公より鳥府表へ御礼  
申上候様御沙汰承之事」

覚

文政七年申三月十一日

一 銀札三貫目

此御手形中井公より

右<sup>者</sup>極内

御帷子と一緒

御手元御差支ニ付操出被

頂戴仕候事、其翌々

仰付候処早々御差出早速

十三日御肴を以

御前<sup>江</sup>指上候所御満悦被遊候

御願御礼申上候事

依之御墨印頂戴申候、以上

文政六年

西村市太夫 判

未十二月日

多胡忠左衛門 判

中井与惣兵衛 判

大谷新九郎殿

5 | 5 4 | 1

覚

一 銀札三貫目

右<sup>者</sup>極内

御手元御差支ニ付操出被

仰付候処早々御差出早速

御前<sup>江</sup>指上候所御満悦被遊候、依之

御墨印頂戴申候、以上

西村市太夫（印）

多胡忠左衛門（印）

中井与惣兵衛（印）

文政六年

未十二月日

大谷新九郎殿